

「吉増剛造」

2018年4月28日(土) - 5月13日

ART OFFICE OZASA



©吉増剛造

ART OFFICE OZASAでは、  
「KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭」の関連企画「KG+GALLERY」として  
詩人・吉増剛造による展覧会を開催いたします。

1960年代から現在にいたるまで、常に「言葉」という世界を拡張し続けてきた詩人・吉増剛造（よします・ごうぞう 1939-）。一昨年 2016 年には、東京国立近代美術館にて大規模な個展『声ノマ 全身詩人、吉増剛造展』も開催されました。また同氏は詩篇のみならず朗読パフォーマンス、多重露光写真や銅板に文字を打刻したオブジェなど、複数のメディアを横断しながら様々な分野で先鋭的な作品を生み出し続けています。この度 ART OFFICE OZASA では吉増剛造による写真作品と共に様々なメディアによる作品を展示し、「詩人」という枠組みを超えた吉増剛造の展覧会を開催いたします。

“吉増剛造は、明治二十年を反復し、その反復においてまだ見ぬ未来の言語を見出そうとする詩人である。”

佐々木 中

典拠：『声ノマ 全身詩人、吉増剛造展』カタログ内「文字の歴史 - 吉増剛造とその言語」より



吉増剛造 Gozo Yoshimasu

1939年東京生まれ。詩人。文化功労者、2015年日本芸術院賞・恩賜賞、日本芸術院会員。大学在学中から旺盛な詩作活動を展開。以後先鋭的な現代詩人として、今日に至るまで国内外で活躍、高い評価を受ける。また詩篇のみならず評論、朗読のほか、現代美術や音楽とのコラボレーション、写真など様々な分野で多角的な作品を生み出し続けている。2016年に東京国立近代美術館で開催された『声ノマ 全身詩人、吉増剛造展』は各地で大きな反響を呼び、2017年末より作品に加え、同氏と関連するさまざまな表現者の作品や資料を共に展示する新たな展覧会『涯ハテノ詩聲 詩人 吉増剛造展』が足立市立美術館、沖縄県立博物館・美術館、渋谷区立松濤美術館を巡回中。

ART OFFICE OZASA INC.

〒602-8216 京都市上京区堅門前町414 西陣産業会館207 (堀川今出川南西 西陣織会館 西館)  
207 Nishijin Textile Center West.414 Tatemonzen-cho, Kamigyo-ku, Kyoto 6028216 Japan

《展覧会概要》

【展覧会タイトル】

「吉増剛造」

【会期】

2018年4月28日(土) - 5月13日(日) 11:00 - 18:00

【休廊日】

会期中無休

【会場】

ART OFFICE OZASA

京都市上京区堅門前町414 西陣産業会館 207

(堀川今出川南西 西陣織会館 西館)

【アクセス】

地下鉄烏丸線 今出川駅より徒歩10分

【問い合わせ】

株式会社 ART OFFICE OZASA

〒602-8216 京都市上京区堅門前町414 西陣産業会館207

電話:075-417-4041

メール:mail@artozasa.com

HP:www.artozasa.com



©吉増剛造

【KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭とは？】

「KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭」は、世界屈指の文化都市・京都を舞台に開催される、日本でも数少ない国際的な写真祭です。一千年の長きにわたって伝統を守りながら、その一方で先端文化の発信地でもあり続けてきた京都。その京都がもっとも美しいといわれる春に開催されます。日本および海外の重要作品や貴重な写真コレクションを、趣のある歴史的建造物やモダンな近現代建築の空間に展開し、ときに伝統工芸職人や最先端テクノロジーとのコラボレーションも実現するなど、京都ならではの特徴ある写真祭を目指します。



【KG+ KYOTOGRAPHIE 趣旨】

KG+は、これから活躍が期待される写真家やキュレーターの発掘と支援を目的に、2013年よりスタートしたアートプロジェクトです。KG+は、KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭と連携し、同時期に開催することで国際的に活躍する写真家やアーティスト、国内外のキュレーター、ギャラリストとの出会いの場と国際的な情報発信の機会を提供します。5回目となる2017年は、京都から新たな才能を国際的に発信することを目指し、世界を舞台に活躍する意欲ある参加者を広く募集します。また、市民参加型のプログラムを実施し、日常的に文化に親しむ状況をつくります。京都市内各所で開催する多様な表現が地域と人々をつなげ、新たな交流や発見がうまれることを期待します。

ART OFFICE OZASA INC.

〒602-8216 京都市上京区堅門前町414 西陣産業会館207 (堀川今出川南西 西陣織会館 西館)  
207 Nishijin Textile Center West.414 Tatemonzen-cho, Kamigyo-ku,Kyoto 6028216 Japan

## 《関連企画》

### 【イベント内容】

吉増剛造パフォーマンス

吉増剛造 + 建昌哲 対談 司会: 楠本亜紀

### 【会期】

2018年5月5日(土・祝) 16:00 - 18:00 ※予約不要

### 【会場】

ART OFFICE OZASA

京都市上京区堅門前町414 西陣産業会館 207(堀川今出川南西 西陣織会館 西館)

### 【アクセス】

地下鉄烏丸線 今出川駅より徒歩10分

### 【問い合わせ】

株式会社 ART OFFICE OZASA

〒602-8216 京都市上京区堅門前町414 西陣産業会館207

電話:075-417-4041

メール:mail@artozasa.com

HP:www.artozasa.com



©吉増剛造

## 【対談者】



建昌哲 Akira Tatehata

美術評論家、詩人 / 1947年、京都府生まれ。早稲田大学文学部仏文学科卒業。「芸術新潮」編集者、国立国際美術館主任研究官、多摩美術大学教授、国立国際美術館長、京都市立芸術大学学長を経て、現在、多摩美術大学学長。全国美術館会議会長。埼玉県立近代美術館長、京都芸術センター館長、草間彌生美術館長を兼任。1990年、1993年にヴェネチア・ビエンナーレ日本館コミッショナー、2001年に横浜トリエンナーレ、2010年にあいちトリエンナーレ、2017年に東アジア文化都市京都のメイン事業「アジア回廊」展の芸術監督。詩人としては、『余白のランナー』で歷程新鋭賞、『零度の犬』で高見順賞、『死語のレッスン』で萩原朔太郎賞を受賞。

## 【司会】



楠本亜紀 Aki Kusumoto

写真批評、キュレーション。川崎市岡本太郎美術館学芸員を経て、フリーランスで活動。2009年より東川町国際写真フェスティバルの東川賞授賞作家展キュレーター。写真集シリーズ『In-between』では、吉増剛造『Ireland』の企画、編集を行う。吉増剛造『表紙』では、写真及び日記のセレクション、構成を行う。主な展覧会に「日本発見 岡本太郎と戦後写真」、「肉体のシュルレアリスム 舞踏家土方巽抄」(第35回舞踊批評家協会賞)など。著書に『逃げ去るイメージ アンリ・カルティエ＝ブレッソン』(第6回重森弘淹写真評論賞)。

## 《略歴》

## 吉増剛造

- 1939 東京都杉並区阿佐ヶ谷に生まれる。  
1963 慶應義塾大学文学部国文学科卒業。  
現在 東京に在住

## 主な展覧会

- 1990 「吉増剛造写真展 アフナルバルへ」 ギャラリーヴェリタ (広尾)  
「吉増剛造写真展 アフナルバルへ」 ギャラリー 1956 (那覇)  
「吉増剛造写真展 火ノ邦ノ螺旋ノ歌」 島田美術館 (熊本)
- 1991 「吉増剛造写真展 アフナルバルへ」 ヴォイスギャラリー (京都)  
「吉増剛造写真展 アフナルバルへ」 中森花器店 (札幌)  
「吉増剛造写真展 アフナルバルへ」 西田画廊 (奈良)  
サンパウロ・ビエンナーレ (ブラジル)
- 1994 「吉増剛造個展 石狩河口 / 坐ル」 テンポラリースペース (札幌)
- 1995 「吉増剛造写真展 + 柳澤紀子銅版画展」 YAMAHA GALLERY (静岡)
- 1996 「吉増剛造展 百葉 / 界川 / 宇宙函」 テンポラリースペース (札幌)
- 1997 「吉増剛造写真展 心に刺青をするように」 ギャラリーヴェリタ (広尾)
- 1998 「吉増剛造写真展 鯨、疲れた、……」 ギャラリーヴェリタ (広尾)  
「水邊の言語オブジェ 吉増剛造 —— 詩とオブジェと写真」 斎藤記念川口現代美術館 (埼玉)
- 2000 「吉増剛造写真展 パランプセストの庭」 ギャラリー・クロード・サミュエル (パリ・フランス) /  
CCI Alsace Eurométropole (ストラスブール・フランス) / ログスギャラリー (東京)  
「吉増剛造写真展 風ノ身体」 大阪造形センター (大阪)
- 2002 「吉増剛造ポラロイド写真展 瞬間のエクリチュール」 ポラロイドギャラリー (東京)  
「吉増剛造写真展 As though Tattooing on My Mind」 ギャラリー・マルティネス (リヨン・フランス)  
「融点・詩と彫刻による」 うらわ美術館 (埼玉)
- 2003 「吉増剛造写真展 一滴の光 1984-2003」 城西国際大学水田美術館 (千葉)  
「吉増剛造写真展 詩ノ汐ノ穴 “sinosionoana”」 photographer's gallery (東京)  
「Poetic Spectrum - Images, Objects, and Words of Gozo Yoshimasu」 Location One (ニューヨーク・アメリカ)  
「吉増剛造写真展 ヒカリノオチバ」 / 青山ブックセンター (東京)
- 2004 「吉増剛造展 書物のヴィジョン ー生涯は夢の中径ー」 / 徳島県立文学書道館 (徳島)
- 2005 「吉増剛造写真展 A drop of light」 ギャラリー・マルティネス (リヨン・フランス)
- 2006 「吉増剛造写真展 白を襲ねる」 ワセダギャラリー (東京)
- 2008 「吉増剛造 詩の黄金の庭」 北海道立文学館 (北海道)
- 2010 「吉増剛造写真展 盲いた黄金の庭」 BLD ギャラリー (東京)
- 2013 「吉増剛造展」 Daiwa Foundation Japan House (ロンドン・イギリス)  
「吉増剛造展 怪物君」 テンポラリースペース (札幌)
- 2014 「青森 EARTH2014 第2部 縄目の詩、石ノ柵」 青森県立美術館 (青森)  
「吉増剛造展 水機ヲル日、……」 テンポラリースペース (札幌)
- 2016 「声ノマ 全身詩人、吉増剛造展」 東京国立近代美術館 (東京)
- 2017 札幌国際芸術祭 2017 「吉増 剛造 火ノ刺繍 - 『石狩シーツ』の先へ」 北海道大学総合博物館 (北海道)  
「涯テノ詩聲 (ハテノウタゴエ) 詩人 吉増剛造展」 足利市立美術館 (栃木)  
「吉増剛造展」 SHUMOKU GALLERY (名古屋)

## 《CV》

Yoshimasu Gozo

1939 Born in Asagaya, Suginami Ward, Tokyo.  
1963 Graduated from Keio University Faculty of Letters Department of Japanese Literature.  
Currently Live in Tokyo.

## Exhibitions (Selected)

- 1990 “Yoshimasu Gozo Photography exhibition : To Afunrupa-ru”, Gallery Verita (Tokyo, Japan)  
“Yoshimasu Gozo Photography exhibition : To Afunrupa-ru”, Gallery 1956 (Okinawa, Japan)  
“Yoshimasu Gozo Photography exhibition : HI NO KUNI NO RASEN NO UTA”, Shimada Museum of Arts (Kumamoto, Japan)
- 1991 “Yoshimasu Gozo Photography exhibition : To Afunrupa-ru”, VOICE GALLERY pfs/w (Kyoto, Japan)  
“Yoshimasu Gozo Photography exhibition : To Afunrupa-ru”, Nakamura Kaki Store (Sapporo, Japan)  
“Yoshimasu Gozo Photography exhibition : To Afunrupa-ru”, Nishida Gallery (Nara, Japan)  
São Paulo Biennale (Brazil)
- 1994 “Yoshimasu Gozo solo exhibition : Sitting / Ishikari River Mouth”, Temporary Space (Sapporo, Japan)
- 1995 “Yoshimasu Gozo Photography & Yanagisawa Noriko Copperplate print Exhibition”, YAMAHA GALLERY (Shizuoka, Japan)
- 1996 “Yoshimasu Gozo Exhibition : MOMOHA / SAKAIGAWA / UCHUBAKO”, Temporary Space (Sapporo, Japan)
- 1997 “Yoshimasu Gozo Photography exhibition : As though Tattooing on My Mind”, Gallery Verita (Tokyo, Japan)
- 1998 “Yoshimasu Gozo Photography exhibition : A weary whale,...”, Gallery Verita (Tokyo, Japan)  
“Language Objets at Waters’ Edge: Poetry / Objets / Photography from Yoshimasu Gozo”,  
The Saito Memorial Kawaguchi Museum (Saitama, Japan)
- 2000 “Yoshimasu Gozo Photography exhibition : Le Jardin Palimpseste”, Logos Gallery (Tokyo, Japan),  
galerie Claude Samuel (Paris, France), CCI Alsace Eurométropole (Strasbourg, France)  
“Yoshimasu Gozo Photography exhibition : KAZE NO KARADA”, OZC (Osaka, Japan)
- 2002 “Yoshimasu Gozo Polaroid exhibition : Ecriture in a moment”, Polaroid Gallery (Tokyo, Japan)  
“Yoshimasu Gozo Photography exhibition : As though Tattooing on My Mind”, Galerie José Martinez (Lyon, France)  
“The Melting Point : Group Show by Poets and sculptors”, Urawa Museum of Art (Saitama, Japan)
- 2003 “Yoshimasu Gozo Photography exhibition : A drop of light : 1984-2003”,  
Mizuta Museum in Josai International University (Chiba, Japan)  
“Yoshimasu Gozo Photography exhibition : Shi-no-shio-no-ana”, photographers’ gallery (Tokyo, Japan)  
“Poetic Spectrum – Images, Objects, and Words of Gozo Yoshimasu”, Location One (NY, USA)  
“Yoshimasu Gozo Photography exhibition : Fallen Leaves of Light.”, Aoyama Book Center (Tokyo, Japan)
- 2004 “Yoshimasu Gozo’s Universe of Books, Calligraphy and manuscripts”,  
Calligraphy and Literature Museum Tokushima (Tokushima, Japan)
- 2005 “Yoshimasu Gozo Photography exhibition : A drop of light”, Galerie José Martinez (Lyon, France)
- 2006 “Yoshimasu Gozo Photography exhibition : SHIRO WO KASANERU”, WASEDA gallery (Tokyo, Japan)
- 2008 “Garden of Gold Gone Blind – Yoshimasu Gozo”, Hokkaido Museum of Literature (Hokkaido, Japan)
- 2010 “Yoshimasu Gozo Photography exhibition : Garden of golden was blind”, BLD GALLERY (Tokyo, Japan)
- 2013 “Yoshimasu Gozo Exhibition”, Daiwa Foundation Japan House (London, United Kingdom)  
“Yoshimasu Gozo Exhibition : Dear Monster”, Temporary Space (Sapporo, Japan)
- 2014 “Aomori: Earth2014 – Part 2: Knotted Poems, Stone Fence”, Aomori Prefecture Museum of Art (Aomori, Japan)  
“Yoshimasu Gozo Solo Exhibition : Water Weaving Day,.....”, Temporary Space (Sapporo, Japan)
- 2016 “The Voice Between: The Art and Poetry of Yoshimasu Gozo”, The National Museum of Modern Art, Tokyo (Tokyo, Japan)
- 2017 Sapporo International Art Festival 2017 “Yoshimasu Gozo : Fire Embroidery – Beyond Ishikari Sheets”,  
Hokkaido University Museum (Hokkaido, Japan)  
“HATENOUTAGOE – Poet Yoshimasu Gozo”, Ashikaga Museum of Art (Tochigi, Japan)  
“Yoshimasu Gozo Exhibition”, SHUMOKU GALLERY (Nagoya, Japan)

ART OFFICE OZASA INC.

〒602-8216 京都市上京区堅門前町414 西陣産業会館207 (堀川今出川南西 西陣織会館 西館)  
207 Nishijin Textile Center West.414 Tatemonzen-cho, Kamigyo-ku, Kyoto 6028216 Japan